



お知らせ

2014年3月3日

先端 IT 活用推進コンソーシアム

先端 IT 活用推進コンソーシアム、DEIM2014 にて 新領域「コンテキスト・コンピューティング」の研究成果を発表

先端 IT 活用推進コンソーシアム（会長：鶴保証城 元 IPA ソフトウェア・エンジニアリング・センター所長、以下「AITC」という）は、人と機械が協働し、動的に変化する社会的な知識形成の実現を目指す新領域「コンテキスト・コンピューティング」のプロトタイプ・システムを構築し、気象災害の防災訓練に適用、社会的知識の蓄積とその有用性を検証した研究成果を、2014年3月3日（月）～3月5日（水）に開催される DEIM2014（第6回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム）において発表します。

AITC では、かねてより社会知能（Social Intelligence）に着目し、人と機械とが協働することで動的に変化する社会的な知識形成の実現を目指す領域を今後の方向と見定め、これに「コンテキスト・コンピューティング」の名称を付け、専門の研究部会（コンテキスト・コンピューティング研究部会（以下「CC研」））を設立し、活動を続けてきました。

ソーシャルメディアが社会基盤となり、人々は社会で起きる出来事のセンサーとなり共有された情報を行動に役立てることができるようになった一方、大量のコンテンツから自分に関連する情報を見極め、状況を把握し、意思決定を行うのは大変困難です。CC研が目指す「人と機械が協働する」コンテキスト・コンピューティングでは、人が自然な対話の中で意味や評価をメタデータとしてコンテンツに与えることで、コンピュータが大量のコンテンツをリアルタイムに計算し社会的に意味付けられた意思決定支援情報を動的に形成できるようになります。即ち、人の知性を代替するのではなく、人の知性を強化するために人と機械が協働する新たなコンピューティング・パラダイム、それがコンテキスト・コンピューティングであり、CC研ではその確立を目指して活動を続けてきました。

さらに CC研では、コンテキスト・コンピューティングを具現化するため、人と情報の関係性をデータ（コンテキスト）として記録し、利用者毎に情報を選択・集約し、各利用者に適した情報を提供し、意思決定を支援するプロトタイプ・システムを開発しました。閲覧者と同じ状況の人をフィルタリングした時系列のコンテンツ参照（図 1）、コンテンツに付帯する意味で集計した意識の変化（図 2）、意識の俯瞰（図 3）により、的確に状況を把握し機を逃さず将来の行動決定する支援をします。また、本プロトタイプ・システムを、気象災害の防災訓練に適用することで、社会的知識の蓄積と、その有用性を検証しました。DEIM2014 では、「コンテキスト・コンピューティングとその応用」と題し、本プロトタイプ・システムと検証結果について発表します。



図1 タイムライン

図2 集団意識の変化

図3 集団意識の俯瞰

AITC では、次世代のソーシャル ICT 発展への貢献をめざし、今後ともコンテキスト・コンピューティングの研究・検証を進めてまいります。

■DEIM2014 開催概要

名称：第6回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム

(第12回日本データベース学会年次大会)

日程：2014年3月3日(月)～3月5日(水)

会場：淡路夢舞台&ウェスティン淡路

主催：電子情報通信学会データ工学研究専門委員会／日本データベース学会／
情報処理学会データベースシステム研究会

→ <http://db-event.jpn.org/deim2014/>

■先端IT活用推進コンソーシアムについて

「先端IT活用推進コンソーシアム」は、企業における先端ITの活用および先端ITエキスパート技術者の育成を目指す団体です。IT分野では、次々と目まぐるしく新しい技術が生まれ、そのいくつかは瞬く間に進化を遂げていきます。一方で、企業情報システムにおいては、先進性だけでなく、安定性や機密性などが求められ、そのための研究・検証等を行うために、先端ITの適用に時間がかかるという課題があります。この課題を解決するために、先端IT分野について、複数の企業が共同で研究・検証・実証などを行うことにより、企業における先端ITの適用サイクルを早め、同時に先端ITに知見の深い技術者を育成し、もって先端IT活用による企業活動の価値向上に資することを目的として活動します。

また、本会の活動によって、安定性や機密性を求める社会基盤にも先端ITの活用が進むよう、活動の発展を目指してまいります。

→ <http://www.aitc.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

先端 IT 活用推進コンソーシアム 運営委員会

E-mail: staff@aitc.jp

電話:045-752-0835 (田原)